



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

5月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤 尚子

新しい『さくらだこども園』。次へのステップ。

さくらだこども園はこの4月から新しく、2年保育・幼稚園型認定こども園として再出発しました。4月に入園・進級した子どもたちが、新しい環境にドキドキしながらも一日一日、新しい環境に慣れていくように、新しく変わったこども園の在り方に先生たちも日に日に馴染んでいくところ。3歳児が入園してこないため、4歳児に進級した子どもたちが「一つ大きくなった」と実感する機会がありませんでした。それでも、入園した4歳児との関わりの中で、新しい友達に優しく接し、つながりをもち、自分のできることをすることが、相手にとっての見本でもあり、新入園児の安心にもつながっている、と感じているように思います。

4月から夏のような日もありましたが、戸外で遊ぶのが気持ちのいい陽気となりました。園庭でのびのびと遊び、周りにいる友達や異学年の幼児の様子を見て、様々な自然に出会う中で、園に通う楽しさ、自分のしたいことをたくさん見付けてほしいと願っています。

こども園の園庭には今年も5歳児が作ったこいのぼりが泳いでいます。毎年、5歳児がグループで相談して作るのですが、今年5歳児にとっては「初めて友達と一緒に作るこいのぼり」です。どんな色の体で、どんな色や形のうろこにするか、3~4人の友達と相談しながら作っていました。『相談する』ことを知る機会でもあります。いろいろな活動を通して、自分と違う思いや考え、表現をする友達がいることを知り、一緒に進めていくにはどうするのかなを考えられるようにしていきます。先生たちは、それぞれの子どもの思いに寄り添い、支え、共に考え、乗り越える手伝いをし、喜びを分かち合います。新しいことに立ち向かうのは緊張するかもしれませんが、支えてくれる人がいると思うと力が湧いてくるのではないのでしょうか。保護者の方も心配事は園に伝えて頂き、協力して子どもたちを支えていきましょう。

さくらだこども園は今年度も「やさしい子」に重点をおき、人と共に生活することが楽しいと思える、互いを大事にする関わり方を知ってほしいと考えています。園内研究では「心も体もたくましい幼児を育てる」ために体の動きに注目して様々な遊びを楽しめるように工夫していきます。また東京都が推進する「とうきょう すくわくプログラム」に参加し、幼児が探求する面白さを体験できるような援助も、より意識していきます。集団の中だからこそ体験でき、学べることを大事に、集団の中でも自分の力を発揮できる人になるよう育てていきます。子どもたちが成長していく姿を、一緒にたくさん見付けていきましょう。

今月の指導のめあて

- ＜4歳児＞
 - ・安心する場や興味をもった遊びに、自分から関わって遊ぶことを楽しむ。
 - ・教師や友達と体を動かして遊んだり、学級みんなで過ごしたりする楽しさを感じる。
- ＜5歳児＞
 - ・友達と関わる中で、自分の思いを表したり、相手の話を聞いたりしようとする。
 - ・友達と一緒に遊ぶことを楽しむ中で、思いやりを体動かし心地よさを感じる。
 - ・虫探しや生き物の世話など、身近な動植物と関わり、自然に親しむ。

【健康診断について】

4月から6月にかけて、内科、耳鼻科、歯科、眼科の健康診断を行います。心配なことがあり、園医に相談したい場合は、事前に担任にお知らせください。全科受診しないと、プールには入れませんので体調を整え、受けられるようにしましょう。

欠席等の理由により、受診できなかった方は、後日受診していただきます。なお受診後、治療のお知らせを受け取った方は、早めに治療し治癒証明を園に出してください。

【衣替えについて】

6月から衣替えになります。夏服はありませんので、衣替え以降は、園服なし、園帽着用になります。ただ、5月になると、暑い日もありますので、暑い日は、園服を着用しなくても構いません。